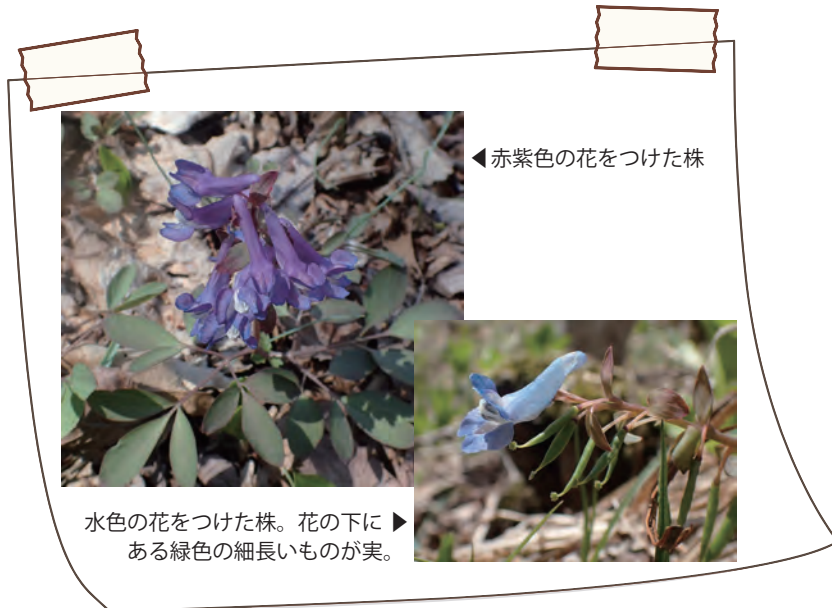




# ネイチャーセンターだより

2025年3・4月号

## 新・いきもの図鑑



赤紫色の花をつけた株

水色の花をつけた株。花の下にある緑色の細長いものが実。

### 【参考文献】

梅沢俊. 2007. 新北海道の花. 北海道大学出版会.  
河野昭一. 2004. 植物生活史図鑑 II 春の植物 No.2. 北海道大学図書刊行会.

## エゾエンゴサク（蝦夷延胡索）

早春に花を咲かせる代表的な「春植物（早春に花を咲かせ夏ごろには地上部が枯れ、翌年まで地下で過ごす植物）」のひとつです。細長い筒状の花が房状につき、花数は株によって1～20数個とばらつきがあります。花の色も白やピンク、青、紫など株ごとに非常に様々です。

自身の花粉では受粉できず、受粉のためには他の株の花粉が必要です。5月下旬には細長い実がぶら下がっているのが見られるようになり、熟すと皮がはじけて中の種が飛び散ります。種から発芽した後は、1年目は1枚葉、2年目は3枚葉、2～3年後に茎が2本になりそれぞれ3枚の葉をつけ…といったように時間をかけて少しずつ葉の数が増えていきます。そして何年も経てようやく花を咲かせるのです。東梅自然学習林では、例年4月頭から5月中旬にかけて花を見ることがができます。

## 結氷しない風蓮湖…今年のワシ類の飛来数は？

# NEWS



例年より高い気温が続いたこの冬、春国岱周辺では12月下旬にうっすら凍った風蓮湖も、1月以降、氷で覆われることはありませんでした。風蓮湖の南西側では氷が張った箇所もありますが、その氷の上に水が張っている様子も見受けられました。そんな状態のため、例年は風蓮湖の氷上によく見られていたワシたちも、今年は見る頻度が少ない印象でした。

ネイチャーセンターでは、1月27日と、2月6・7日に風蓮湖と温根沼でワシ類越冬個体数調査を行いました。調査はまだ3月まで続きますが、中間結果では意外にもオオワシ・オジロワシの数は例年と同程度であり、さらに、2022～2024年のピークより多くなっています。ただやはり、例年より春国岱、温根沼周辺での数が少なくなっており、それがワシが少なく感じた原因のようです。



▲ネイチャーセンターの窓から見える風景。茶色いヨシ原の奥に白く見えるのが春国岱、その右側が海、左側が風蓮湖。いずれも青く、氷がない。

# 見どころMAP

★冬期の木道除雪は行っておりません。足元に注意してご利用ください。



- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

## 3・4月の見どころ予報

### 凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ オオワシ	3月	○	オオワシは3月になると北へ渡り始めるため、徐々に少なくなっています。オジロワシも渡っていきますが、少数は風蓮湖周辺で繁殖の準備に入ります。
	4月	○	
タンチョウ	3月	○	3月上旬になると、おとなのタンチョウは春国岱で繁殖の準備に入ります。4月は、交尾・産卵の時期でデリケートなため、観察の際は十分な距離をとってください。
	4月	○	
オオハクチョウ	3月	◎	3月になると本州北部などの越冬地から渡ってくるため、数が多くなります。アマモを食べて十分に栄養を蓄えてから、4月中旬までに繁殖地のカムチャツカ半島などに渡ります。
	4月	○	
カモ類	3月	○	3月には南から多くのカモが渡ってきます。ヒドリガモやオナガガモが多く、ハシビロガモ・コガモなどが混ざります。秋には地味だった雄も、鮮やかな繁殖羽に変わっており、識別しやすい姿です。
	4月	◎	
ミヤコドリ	4月	○	昨年の初認日は、3月31日。例年、4月下旬が渡来数のピークとなり、近年は50羽以上が風蓮湖や根室湾の干潟で見られます。観察できるのは干潮時間帯です。
春国岱	森		3月にはミソサザイ、4月にはルリビタキやアオジのさえずりが聞こえるようになります。運が良いとクマガエラの鳴き声やドラミングも聞こえるかもしれません。4月中旬～下旬にアカエゾマツコースでミズバショウが見られます。
	草原		ハクセキレイやカワラヒワがよく見られます。4月になるとヒバリのさえずりが聞かれ、夏鳥のノビタキ、旅鳥のタヒバリなどに出会えます。
自然学習林	野鳥		ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が見られます。4月にはミソサザイ、ウグイス、アオジなどのさえずりが聞こえるようになります。
	花		キタミフクジュソウ(昨年3月23日開花)、ザゼンソウ(昨年4月10日開花)、エゾエンゴサク(昨年4月16日開花)・キバナノアマナ(昨年4月24日開花)など。ミズバショウは4月中旬～下旬が花盛りで、5月頭には見頃のピークを過ぎることもあります。

## ねむろバードランドフェスティバル 2025 が開催されました

1月下旬、野鳥を楽しむイベント「ねむろバードランドフェスティバル 2025」が開催され、市内で様々なプログラムが行われました。25、26日は道の駅スワン44ねむろで「風蓮湖ワシワシ観察会」があり、春国岱ネイチャーセンターのレンジャーが解説を行いました。道外からの観光客だけでなく市内からの参加者も多く、ワシを初めて見たという方もおり、根室ではよく見られるオオワシ・オジロワシを改めて市民の方に知っていただく機会になりました。当日はワシが氷上で休んでいる姿や上空を飛ぶ様子が観察でき、見分け方やその大きさ、迫力をじっくり楽しんでいただくことができました。協賛のハクバ写真産業株式会社さんからはスワロフスキーの双眼鏡を無料貸出していただき、参加者のみなさんには高性能な双眼鏡で鳥を観察する貴重な体験にもなりました。



▲観察会の様子。当日は、ねむろトコロジストの会（市民自然ガイド）のみなさんもサポートスタッフとして活躍されました。



▲谷口さんのワークショップの様子。子どもたちも真剣なまなざしで参加していました。

26日にはネイチャーセンターで野鳥図鑑画家・谷口高司さんによる鳥の絵を描くワークショップ『谷口高司の「タマゴ式」鳥絵塾』が開催されました。谷口さんは国内外で数多くの野鳥図鑑を描かれている方で、市内の小学生に配布されたことがある冊子「ねむろの野鳥ミニ図鑑」のイラストも描かれています。ワークショップでは、大人から子どもまで、絵を描くのが好きな人はもちろん、絵に苦手意識のある方も、谷口さんの指導で野鳥が上手に描けてしまう不思議な体験を楽しんでいらっしゃいました。

フェスティバルの前後、1/11～2/11までは、ネイチャーセンター2階で谷口さんの作品展も開催していました。今回は初展示となった多くの新作を含む全27点を展示。根室ではなかなか見られる機会のない谷口さんの美しい野鳥の原画を多くの方にご覧いただくことができました。

※イベントはいずれも、ねむろバードランドフェスティバル実行委員会が主催



▲谷口高司さんの作品展会場の様子

## 春国岱クイズ

表紙の「新・いきもの図鑑」で紹介したエゾエンゴサクのように、早春に花を咲かせ、夏ごろに地上部が枯れ、翌年の春まで地下で過ごす植物を「春植物」といいます。春植物はそのはかなさから、「春の妖精」とも呼ばれます。東梅自然学習林や春国岱では、エゾエンゴサクの他にも春植物を見ることができますが、次のうち春植物ではないものはどれでしょう？

①キバナノアマナ



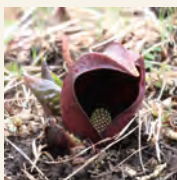
②エゾオオサクラソウ



③キタミフクジュソウ



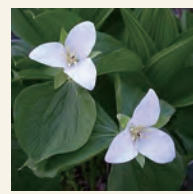
④ザゼンソウ



⑤ハマハタザオ



⑥オオバナノエンレイソウ



答えはウラのページ

# 春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

【問合せ・申込先】

春国岱ネイチャーセンター

電話：0153-25-3047

Eメール：nemu\_nc@marimo.or.jp

メール



## ◆3/8 ネイチャー講座「春国岱とフレシマ湿原から見る根室の湿原今昔」

オホーツク海側と太平洋側、二つの自然環境があるのは、近隣の霧多布湿原や野付半島にはない、根室ならではの自然の特徴です。ラムサール条約湿地である風蓮湖・春国岱と、半島を挟んで太平洋側にあり、昨年10月にNHK『さわやか自然百景』でも紹介された「フレシマ（ホロニタイ）湿原」を比べながら、昔の写真も用いて、それぞれの湿地の変遷をたどります。

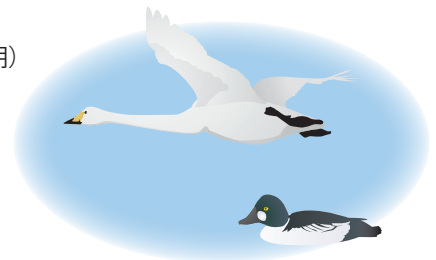
- ◇日時：2025年3月8日（土）13：30～15：00
- ◇場所：春国岱ネイチャーセンター2階
- ◇講師：高田令子さん（ニムオロ自然研究会）、松本潤慶さん（（公財）日本野鳥の会 野鳥保護区担当 チーフレンジャー）
- ◇対象：どなたでも
- ◇参加費：無料
- ◇定員：30名（先着順）
- ◇持ち物：筆記用具
- ◇申込締切：3月6日（木）16時



## ◆3/16 初心者向け水鳥観察会

春の渡りで風蓮湖に飛来したオオハクチョウやカモ類などの水鳥たちを観察します。

- ◇日時：2025年3月16日（日）9：30～12：00（荒天時は3月23日（日）に延期）
- ◇集合／解散：春国岱ネイチャーセンター／春国岱駐車場
- ◇対象：小学生～大人（小学生は保護者同伴）
- ◇参加費：1人100円（保険代）
- ◇定員：20名（先着順）
- ◇服装・持ち物：歩きやすく汚れてもいい靴または長靴、防寒具上下、手袋、帽子、飲み物、筆記用具、お持ちの方は双眼鏡（貸出しあり先着順）
- ◇申込締切：3月14日（金）16時



## 募集集中！ ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回（基本的に第3月曜日）の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

- ◆対象：18歳以上
- ◆年会費（ボランティア保険料含む）：1,000円

## フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします



クイズのこたえ ⑤。ハマハタザオは5～6月に白い花を咲かせるアブラナ科の2年草。ロゼットの状態で越冬します。

【参考文献】河野昭一. 2004. 植物生活史図鑑Ⅰ春の植物 No.1. 北海道大学図書刊行会. 河野昭一. 2004. 植物生活史図鑑Ⅱ春の植物 No.2. 北海道大学図書刊行会.

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL：0153-25-3047 FAX：0153-25-8570

Eメール：nemu\_nc@marimo.or.jp

HP [https://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](https://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

◆開館時間 9：00～16：30（4月からは17時閉館）

◆休館日：3月5・12・19・21・26日

4月2・9・16・23・30日

◆団体でご利用の方へ（事前予約制・2週間前までにご連絡ください）

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



SNSでも最新の自然情報を発信しています！



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録